



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒



富士見台中学校HP

巳のようにしなやかに、そして強く

令和6年度の集大成である3学期が始まりました。3学期は一年間の締めくくり、次年度に向けての土台づくりとして大切な学期です。そのため、「次年度に向けた0学期」とも言います。短い日数の中で仲間とともに、これまでの活動を見つめ直し、「ここまでできる自分（自分たち）になれた」と認め合うとともに、「こうすればよりよい自分（自分たち）になれる」と課題を明らかにし、克服する過程を通してさらに成長できるよう過ごしていきたいものです。

そのような思いを込め、始業式で以下の内容を話しましたので、一部を掲載します。

3学期は学年の締めくくりであると同時に、「新年度の0学期」でもあります。そこで今日は、充実した3学期となるために大切にしてほしい3つのことを話します。

1つめは、人とのつながりを大切にすることです。

令和7年は巳年です。巳年は「人と人との結びつきが運を呼び込む」と言われています。周りの友達や先生、家族との関係をよりよいものにしていきましょう。それには、「コミュニケーション」が大切です。これまでもみなさんはお互いに尊重し合い、対話を重ねながら理解や信頼を深め、成長してきました。3学期も積極的な「コミュニケーション」を通して、人とのつながりを大切にしていきましょう。

2つめは、感謝の気持ちを伝えることです。

2学期の終業式で、「感謝の気持ちは言葉にしないと伝わりにくい。「ありがとう」を言葉にして伝えてほしい」ことを話しました。下校時の昇降口では、多くの生徒が「よいお年を」「2学期ありがとうございました」などと言葉を交わしていました。私たちは、多くの人の善意と支えによって生活しています。自分の生活を支えてくれる人、それは大人だけでなく、先輩、後輩、同級生も含めてです。相手の気遣いに「ありがとう」を伝えましょう。感謝の言葉がお互いを認め合い、よりよい関係を築いていくものです。寒さが厳しい日でも、言葉一つで心の中は温かくなるものです。

3つめは、次の学年、環境を見据えて挑戦を始めることです。

「新年度の0学期」という言葉のとおり、次の学年、次の環境で取り組みたいことに向けて、少しずつ準備を始めましょう。あなたの前向きな態度、努力はまわりにより影響を与え、学校全体に元気を与えてくれます。3学期を「やり残しを埋める学期」ではなく、「新しい挑戦を始める学期」として、充実した時間を過ごしましょう。

最後に、令和7年巳年にちなんで、この言葉を送ります。

「巳のようにしなやかに、そして強く」

みなさんが健康でますます成長する一年となることを願って、私の話を終わりにします。

令和7年も、学校教育目標である「生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒」を育成すべく、教職員一丸となって学校の教育活動を推進してまいります。

保護者並びに地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年を祝い、相談員さん、スクールサポータースタッフさん、市内在住のボランティアさんが作成してくださいました。